

# 定例公安委員会開催概要

## 1 開催日

令和6(2024)年2月7日

## 2 開催内容

次の議題について、警察本部から説明・報告がなされ、決裁等が行われた。

### ■全体会議

#### 【公安委員会から】

冒頭、委員から、

「先日、警察署協議会連絡会に出席した。交通事故防止対策や飲酒運転の根絶がテーマだった。警察では、様々な分析をして、ありとあらゆる対策を講じているが、あらためて、交番・駐在所と交通安全のボランティア、受持管内のコンビニや駐車場管理者等、地域の方々との連携が大事だと感じた。協議会員の方々も様々な業種から選定されているが、このような地域の方々とともに地道に活動を続けることで抑止効果が高まっていくと思う。協議会で意見交換や情報共有できたことで、交通安全について、県民の安全安心のため一緒に活動できているという一体感を持つことができ、非常に良かったと思う。」

旨の発言があった。

#### 【警務部議題】

##### ○ 令和6年度当初予算概要について

警察本部から、「1月24日の知事査定を経て、県議会2月定例会に提出する予算案の額が確定したので報告する。令和6年度警察関係予算の総額は、298億3,850万円ほどであり、令和5年度当初予算と比較すると24億270万円余、率にして8.8%増加しているが、主な要因は、信号灯器のLED化等に係る交通安全施設整備費の増額によるものである。

主な事業について、まず特殊詐欺被害予防対策費であるが、昨年の県内の特殊詐欺被害は、認知件数、被害額ともに前年比で減少しているが、依然として高齢者の被害割合が高く、被害に遭われた高齢者の約8割が同居世帯であるという状況から、子供や孫世代を含めて、詐欺に気付く力を身に付けてもらうことが重要と考え、引き続き、特殊詐欺の最新手口や被害防止対策を紹介するテレビCMの放送と、テレビCMに連動したポスターやチラシによる特殊詐欺被害予防対策を推進していく。

次に、交通安全施設整備費であるが、令和6年度は、令和5年度に比較して7億3,800万円余の増額であり、主な内訳は、信号灯器のLED化が4億6,600万円余、交通管制機器のデジタル回線化が2億8,000万円余となっている。信号灯器のLED化については、視認性が良く電球のように完全滅灯しないなどのメリットがあることから、これまでも計画的に推進してきたが、令和9年度末をもって信号灯器用電球の供給が終了することから、

令和6年度から令和10年度までの5年間の計画で、県内すべての信号灯器をLED化するため増額となったものである。また、交通管制機器のデジタル回線化については、令和4年度から推進してきたが、令和10年度末をもってアナログ回線の提供が終了することから、令和6年度から令和11年度までの6年間の計画で、県内すべての交通管制機器をデジタル回線化するため増額となったものである。そのほか、交通安全施設の新設及び老朽施設の更新・補修など、交通の安全と円滑を図るために必要な事業を推進していく。

次に、交通安全広報啓発フォー・アプローチ事業費であるが、「みせる」、「うったえる」、「はしる」、「ながす」の4つの広報からなる「フォー・アプローチ事業」を推進するもので、「みせる広報」は、デジタルサイネージを活用した商業施設や病院等での交通安全広報を実施するもので、令和6年度は2台の整備を予定している。

次に、運転免許証・マイナンバーカード一体化事業費であるが、道路交通法の一部改正により関係規定が整備され、令和6年度末までに運転免許証とマイナンバーカードを一体化する運用を開始する予定となっている。これにより住所変更手続きのワンストップ化、居住地外での迅速な運転免許証の更新手続きが可能となるものであり、必要な資機材の整備を推進することとしている。

最後に、震災身元不明遺体ミトコンドリアDNA型鑑定事業費であるが、令和6年度については、鑑定未実施の完全遺体18体、部分遺体28体のほか、過去の鑑定でミトコンドリアDNA型が判明している1遺体について、候補者親族のDNA型と対照する鑑定費用を加えた47件の実施を予定しており、そのための費用となるものである。」旨の報告があった。

#### 《 委員質疑 》

「デジタルサイネージ2台はどのようなところに置くことを想定しているか。また、運転免許証とマイナンバーカードの一体化について、現在、積極的に推進しているという認識で良いか。」

→本部説明

「デジタルサイネージは、現在12台整備しており、来年度は2台整備し、今後、全16警察署に配備予定である。活用方法については、静止画と動画を組み合わせた交通安全に関するコンテンツをデジタルサイネージで放映することで、視聴者にわかりやすく情報発信できることから、病院の待合室やイベント会場等に設置して広報啓発活動を行っている。また、令和6年度末までに運転免許証とマイナンバーカードの一体化が開始されるが、一体化は任意であり、これまで通り現行の運転免許証を所持、一体化したマイナンバーカードのみを所持、または一体化したマイナンバーカードと現行の運転免許証の両方を所持することも可能である。」

#### 《 委員質疑 》

「県全体の新年度予算が5.5%減少していると報道されていたが、その中で警察予算が8.8%プラスというのは積極的な予算という捉え方で良いか。」

→本部説明

「LEDについては非常に前向きに捉えていただいた。また、ミトコンドリアに関する鑑定費用についても、被災地の県民に寄り添い、身元不明の遺体を早くご家族に返したいという点を非常に評価していただいた。それぞれしっかりその趣旨を説

明した上で評価していただいたものと思っている。警察としてもかなり積極的な施策に向けた予算だと考えている。」

## ○ 東北管区警察局による監察の実施結果について

警察本部から、「東北管区警察局による監察の実施結果について報告する。監察実施項目は、拳銃に係る不適正事案防止対策及び職員のメンタルヘルス対策の推進状況についてであった。受監結果については、拳銃の不適正事案防止に必要な措置が、組織的かつ適正に検討され、運用がなされているか確認の上、所要の対応を図るよう指導を受けたが、指導を受けた事項については、本部警務課から県内各署に指示し、すでに改善している。今後は、拳銃の不適正事案防止に必要な事務分掌や人事配置について本部が積極的に関与し調整を行うとともに、随時確認の実施によって、適正な運用の確保に努めていく。

次に、良好と認められる事項について、厚生課では警察職員に対して実施したストレスチェックの実施結果を集団ごとに集計して分析し、各所属に通知しているが、このストレスチェックの分析結果を受け、警察署において、相対的に高いストレス値を示した課・係に所属する職員と署長との懇談会を行い、そこで把握した職員の意見・要望を踏まえ、個別にアドバイスを行ったり、定期的に勤務員の相勤者とのペア替えを行うようにするなど、職場環境改善に向けた具体的取組を推進しており、この点について評価された。」旨の報告があった。

### 《 委員質疑 》

「拳銃の不適正事案防止に必要な措置とはどのようなものか。」

→本部説明

「精神的な不調を来すなどしている場合に、不適正使用防止の観点から、必要とされる期間、拳銃を携帯させない措置である。」

## 【刑事部議題】

### ○ 公安委員会規則の一部改正について

警察本部から、「改正する規則名は「刑事訴訟法第189条第1項及び第199条第2項の規定に基づく司法警察員等の指定に関する規則」であり、改正年月日は、令和6年2月15日である。同日、改正刑事訴訟法が施行されることに伴い、逮捕手続における個人特定事項の秘匿措置として、逮捕状請求と同時に、被疑者に示すものとして、個人特定事項の記載がない逮捕状に代わるものの交付を裁判所に請求することができることとなった。これまで規則第2条において、逮捕状を請求することができる司法警察員を指定していたところ、改正刑事訴訟法の施行により、逮捕状を請求することができる司法警察員及び逮捕状に代わるものの交付を請求することができる司法警察員を指定する規則の一部を改正するものである。」旨の説明があり、決裁した。

### 《 委員質疑 》

「逮捕状に代わるものが請求できるとは具体的にはどのようなことか。」

→本部説明

「今までは、性犯罪等であっても、逮捕状に被害者の名前が記載されていなければ逮捕状として認められなかった。このような場合、例えば、被疑者が全く見ず知ら

ずの被害者に加害を加えていた場合、逮捕状を見た時に被害者の名前が分かってしまう等、二次被害、三次被害のおそれが認められることが問題となっていた。今回の改正により、被害者の氏名等が記載されていない逮捕状に代わるものにより、このような事実で逮捕する旨示すことができるようになる。」

#### 【警備部議題】

##### ○ 石川県能登地方を震源とする地震に伴う本県警察官の派遣について

警察本部から、「石川県能登地方地震災害の発生に伴う石川県公安委員会からの警察職員の援助要求があり、受諾の上、本県警察官を派遣するものである。新たに援助要求があったのは、広域緊急援助隊警備部隊であり、派遣期間が本年2月17日から同月26日までの10日間、派遣人員は19人で、行方不明者捜索等に従事する予定である。」旨の報告があり、決裁をした。

#### ■個別会議

##### ○ 警務課

警務課業務報告

##### ○ 留置管理課

留置管理課業務報告

##### ○ 運転免許課

免許取消等処分関係に係る意見の聴取結果等の説明、決裁

##### ○ 交通企画課

運転免許証更新処分の取消しを求める審査請求の審理結果についての説明、決裁

##### ○ 総務課

公安委員会あて苦情の処理についての説明、決裁